

男里浜区の皆様へ

署名ご協力への御礼

皆様からいただいた署名簿を添え、「男里浜区」、「男里区」、「馬場区」、「樽井区」の四名の区長の連名で、別添の「要望書」を１月２６日（火）に無事市役所に提出いたしました。

私たちのこの熱い要望が受け入れられ、「樽井第2駐輪場」は必ず
存続されるものと信じております。

結果が判明次第、ただちに皆様へお知らせしますが、取り敢えずは署名ご協力への御礼を申し上げます。

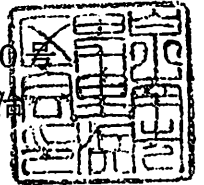
[illegible]



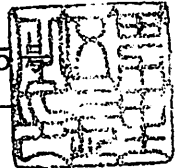
令和3年1月26日

泉南市長
竹中 勇人 様

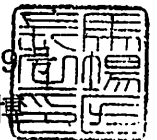
泉南市男里7丁目29番20号
男里浜区長 小寺俊治



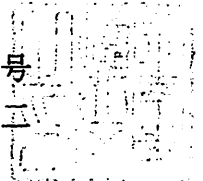
泉南市男里3丁目15番35号
男里区長 竹中正一



泉南市馬場1丁目13番29号
馬場区長 山本 博



泉南市樽井6丁目22番3号
樽井区長 吉嶋英二



樽井第2駐輪場の存続陳情書

泉南市市民生活環境部から、「泉南市駐輪場有料化計画について」と題する資料が2020年12月付で公表され、それによりますと、「樽井第2駐輪場」を廃止して、東洋クロス横の高架橋下付近にある第1・第3・第4の駐輪場へ集約するとの方針が示されております。

しかしながら、当区区民が樽井駅で乗降する場合は、ほぼ全員（樽井区においては相当数）が第2駐輪場を利用しており、仮にこの方針どおりに第2駐輪場が廃止されますと、

（1）まず、当区区民が第1・第3・第4の駐輪場を利用する場合に、

（イ）府道250号線を経由して駐輪場へ行こうとすれば、信号のある交差点で多数の自転車の停止（滞留）と一斉発進が生じ、車両の円滑な交差点通過が妨げられるうえ、自転車・車両間の接触事故という極めて危険な事態が発生するおそれがあります。

- (ロ) 駅前を通り過ぎ歩道を経由して駐輪場へ行こうとすれば、逆方向から樽井駅へ向かう歩行者と歩道上でもろに対向することとなり、最も狭い箇所では幅2m程しかない歩道上での円滑なすれ違いが極めて困難となり、自転車・歩行者間の接触事故が発生するおそれがあります。
- (2) 次に、第2駐輪場に駐輪されている全ての自転車を、第1・第3・第4の駐輪場に収容することはできません。男里浜区では、昨年12月15日(火)と16日(水)に、第2駐輪場に駐輪されている自転車・原付バイクの台数を数えましたところ、430台と450台でした。コロナ禍や私立学校の事実上の冬休み状態による一時的減少を勘案すると、第2駐輪場の実際の利用台数は500台を超えると推定されます。第1・第3・第4駐輪場の現地を視察し、歩測等で面積を試算しましたが、その広さ(駐輪可能台数)では500台もの自転車を全て収容することは、物理的に不可能であることが明らかです。
- (3) さらに、現在の第2駐輪場の利用者は駅前を一旦通り過ぎたうえで、駐輪場から樽井駅へ折り返してくる必要が生じるため、その往復分を合計すると、総移動距離が現在より約500m(時間に換算すると約6分)長くなり、大きな負担増を強いられることが避けられません。

泉南市におかれましては、第2駐輪場が廃止された場合の上記(1)～(3)の重大な問題点を真摯にご検討いただき、樽井第2駐輪場を廃止する計画を見直して、現状どおり存続していただきますよう、ここに賛同者の署名簿を添えて、陳情する次第であります。

(注) 樽井区が「樽井第2駐輪場」の存続を要望する理由は、上記(1)であります。